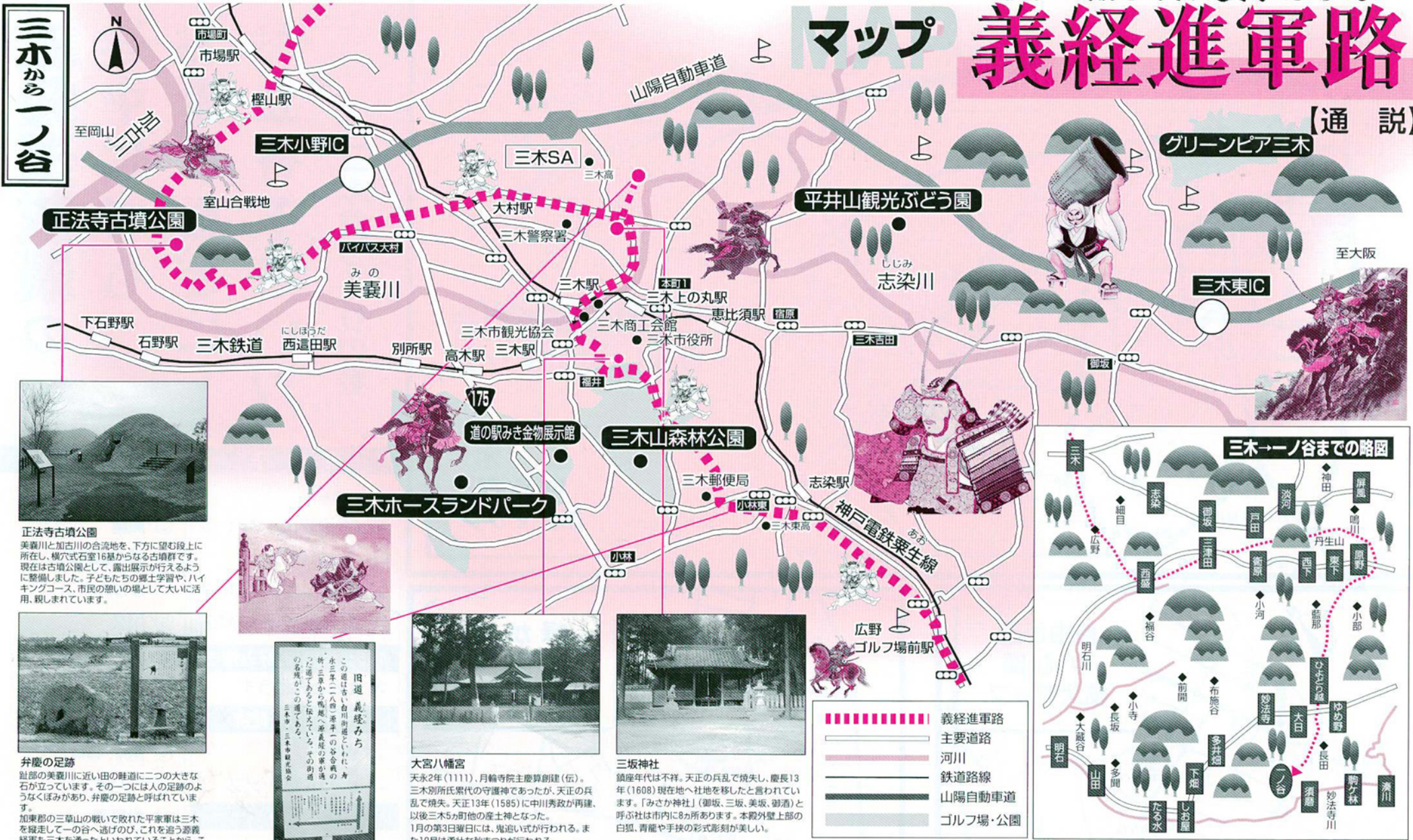


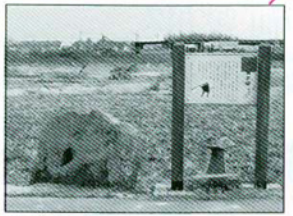
もっと知りたい三木のまち 義経進軍路

マップ

【通説】



正法寺古墳公園
美濃川と加古川の合流地を、下方に望む段上に所在し、横穴式石室16基からなる古墳群です。現在は古墳公園として、露出展示が行えるように整備しました。子どもたちの郷土学習や、ハイキングコース、市民の憩いの場として大いに活用、親しまれています。



井原の足跡
趾部の美濃川に近い田の畦道に二つの大きな石が立っています。その一つには人の足跡のようなくぼみがあり、井原の足跡と呼ばれています。加東郡の三草山の戦いで敗れた平家軍は三木を縦走して一の谷へ逃げのび、これを追う源義経軍も三木を通ったといわれることから、このような伝承が生れたのでしょう。



この道は古い自衛隊道といわれ、永三年（一八〇）平家軍の合戦の折、三草から西へ進んで美濃川の合流地まで進んでいくと、その街道の各所にこの道標がある。



大宮八幡宮
天永2年（1111）、月輪寺院主慶興創建（伝）。三木別所氏家代の守護神であったが、天正の兵乱で焼失。天正13年（1585）に中川秀政が再建。以後三木5カ町他の産土神となった。1月の第3日曜日には、鬼追ひ式が行われる。また10月は勇壮な秋まつりが行われる。



三坂神社
鎮座年代は不詳。天正の兵乱で焼失し、慶長13年（1608）現在地へ社を移したと書かれています。「みさか神社」（御坂、三坂、美坂、御湯）と呼ぶ社は市内に8カ所あります。本殿外壁上部の白狐、青龍や手旗の形が美しい。

義経進軍路 その他の 通説

- 京都＝三草（合戦）＝社＝小野＝室山（合戦）＝和田＝三木＝小林＝広野＝西盛＝木幡＝木津＝藍那＝鶴越＝一の谷
 - 京都＝三草（合戦）＝社＝小野＝室山（合戦）＝和田＝三木＝小林＝広野＝西盛＝木幡＝布施畑＝多井畑＝一の谷
 - 京都＝三草（合戦）＝社＝小野＝室山（合戦）＝和田＝三木＝小林＝広野＝西盛＝三津田＝小河＝布施畑＝多井畑＝一の谷
 - 京都＝三草（合戦）＝社＝小野＝三木＝久留美＝高畑＝殿畑＝大ニ谷＝奈良井＝鳴川＝原野＝藍那＝鶴越＝一の谷
 - 京都＝三草（合戦）＝社＝小野＝三木＝久留美＝吉田＝大谷＝三津田＝衛原＝小河＝藍那＝鶴越＝一の谷
 - 京都＝三草（合戦）＝社＝小野＝三木＝久留美＝豊地＝大谷＝大ニ谷＝湯谷＝僧尾＝神田＝鳴川＝原野＝小部＝藍那＝鶴越＝一の谷
 - 京都＝三草（合戦）＝社＝小野＝三木＝久留美＝吉田＝広野＝西盛＝木幡＝布施畑＝多井畑＝一の谷
- 【参考資料】一の谷合戦と義経みち 五百蔵幸三 著

発行：三木商工会議所観光委員会
TEL.0794-82-3190
後援：三木市観光協会
TEL.0794-83-8400 発行／平成17年4月